

特定非営利活動法人「市村自然塾 九州」
令和3年度 通常総会

1. 日 時 令和4年3月4日（金曜日）
総 会 午前11時
2. 場 所 「市村自然塾 九州」塾舎
佐賀県鳥栖市河内町字谷口 2212-2
3. 審議事項
- (1) 第1号議案 令和3年度 事業報告および決算報告の件
① 令和3年度 事業報告書
② 令和3年度 活動計算書
- (2) 第2号議案 令和4年度 事業計画および活動予算の件
① 令和4年度 事業計画書（案）
② 令和4年度 活動予算書（案）
- (3) 第3号議案 理事および監事選任の件



市村自然塾 九州

令和3年度 事業報告書

【自然塾活動の概況】

1. 全体概要

令和元年末に発生した新型コロナウイルスは世界的に感染拡大し、日本でも令和2年に続き令和3年も全国的に拡大し塾活動にも大きな影響が出ました。
 そのような状況下で市村自然塾九州においては、一昨年同様に政府、自治体、行政等の動きを注視しながら塾生に安全安心な対策を講じてきました。特に令和3年度は年当初よりコロナ感染が拡大し、塾活動全体に及ぶことを考慮して計画段階より ①ステージ数の変更(従来より2ステージ減) 18ステージ→16ステージ
 ②塾生数の変更(従来より18名減) 男女60名→42名
 ③宿泊(2泊3日)ステージの中止(1泊ステージを男女で4回計画) 等に変更してステージに臨みました。
 しかし、コロナ感染は当初予測した以上に猛威を振るい、活動は男女ともに計画の半分に留まりました。

月別の塾の対応は下記のとおりです。

月	世間の状況	塾の対応	月	世間の状況	塾の対応
1月	コロナ感染の拡大	コロナ対策の検討	8月	コロナ感染の再燃	男子第10ステージの実施
2月	緊急事態宣言の発令(福岡県 1/14~2/7)	臨時理事会の開催(2月5日)		緊急事態宣言の発令(福岡県 8/20~9/12)	男子第11ステージの中止 女子第10.11ステージの中止 「やまもの会」総会中止
3月	緊急事態宣言の延期(福岡県 ~3/7) 福岡県緊急事態宣言の解除(3/8)	入塾式中止、理事会・総会を書面決議へ変更 活動説明会(3月7日)午前、午後の2回に分け開催 第1ステージ開催(男子:3月21日 女子:28日)	9月	緊急事態宣言の発令(福岡県 8/20~9/12)	男子第12.13ステージの中止 女子第12.13ステージの中止
4月	コロナ感染が小康状態 4月後半よりコロナ感染の再燃	第2.3ステージ開催		福岡県緊急事態宣言解除(30日)	塾生募集の開始(12月末まで) 「おうちDE塾野菜料理会」の企画→HP掲載
5月	緊急事態宣言の発令(福岡県 5/12~5/30)	第4.5ステージ中止 「おうちDE野菜づくり」の企画→HP掲載	10月	コロナ感染が小康状態	男子第14.15ステージの実施 女子第14.15ステージの実施
6月	緊急事態宣言の延期(福岡県 ~6/20)	第6.7ステージ中止 「やまもの会」役員会(オンラインにて実施) 塾生のオンラインミーティングを試験的に実施(6月13日)		男子第16最終ステージ・終了式(10月31日) 女子第16最終ステージ・終了式(11月7日)	
7月	コロナ感染が小康状態	第8.9ステージの実施 鳥栖市体験学習事業の実施(7月21日~22日)	11月	オミクロン株の発生	男子野菜収穫(11月21日) 女子野菜収穫(11月28日) 寄付金・ふるさと納税による支援依頼 次年度計画と予算化
				12月	

「主なコロナウイルス対策」

① 活動期間の短縮

	計画	実績		
男子	3月21日~10月31日	3月21日~4月18日	7月4日~8月1日	10月3日~10月31日
女子	3月28日~11月7日	3月28日~4月25日	7月11日~7月25日	10月10日~11月7日
ステージ数	全16ステージ	男子 全9ステージ 女子 全8ステージ		

- ② 日帰り活動とし、宿泊活動は中止する。
- ③ 入塾式、親子大会、やまもの会(理事会・総会)、卒塾式は全て中止とする。
- ④ 健康観察カードを活用し、塾生の体温測定や体調管理を行ったうえで活動に参加させる。
- ⑤ 塾舎の出入口、塾生室等にアルコール消毒液を設置し、室内換気を徹底し感染防止に努める。

「令和3年度の振り返り」

	令和3年度																																					
	実施できたこと	できなかったこと・不十分だったこと																																				
全体	コロナ禍での日帰り体験コースの実施 (男子 9ステージ・女子 8ステージ)	宿泊ステージ(1泊2日)を含めた活動(全16ステージ)																																				
農業体験活動 米づくり	<ul style="list-style-type: none"> 脱穀 千歯こき 掛け干し 唐箕選 	<ul style="list-style-type: none"> 種籾の塩水選 代かき 稲刈り 温湯消毒 田植え 結束 播種 除草(株かき) わら縛り 																																				
共同農園	<ul style="list-style-type: none"> 支柱、誘引 鳥獣対策 収穫 ※手入れ作業と収穫が中心	<ul style="list-style-type: none"> 畑の土づくり 播種 土寄せ 畝うち 苗の定植 追肥 畝上げ 芽欠き、間引き 除草、水やり 																																				
チーム農園	<ul style="list-style-type: none"> 前作、後作の作付け計画 手入れ 収穫 ※手入れ作業と収穫が中心	<ul style="list-style-type: none"> 土づくり 親子大会での活動発表 畝上げ 播種 定植 																																				
自然体験活動	<table border="1"> <tr><td>3月</td><td></td></tr> <tr><td>4月</td><td>ヤマメ放流</td></tr> <tr><td>5月</td><td></td></tr> <tr><td>6月</td><td></td></tr> <tr><td>7月</td><td>危険予測・座禅会(男子)</td></tr> <tr><td>8月</td><td></td></tr> <tr><td>9月</td><td></td></tr> <tr><td>10月</td><td>餅つき(男子)</td></tr> <tr><td>11月</td><td>餅つき(女子)</td></tr> </table>	3月		4月	ヤマメ放流	5月		6月		7月	危険予測・座禅会(男子)	8月		9月		10月	餅つき(男子)	11月	餅つき(女子)	<table border="1"> <tr><td>3月</td><td></td></tr> <tr><td>4月</td><td></td></tr> <tr><td>5月</td><td></td></tr> <tr><td>6月</td><td>清掃ボランティア</td></tr> <tr><td>7月</td><td>塾野菜料理会</td></tr> <tr><td>8月</td><td></td></tr> <tr><td>9月</td><td>座禅会(女子)・リパートレッキング</td></tr> <tr><td>10月</td><td>味噌づくり・日の出拝観</td></tr> <tr><td>11月</td><td></td></tr> </table>	3月		4月		5月		6月	清掃ボランティア	7月	塾野菜料理会	8月		9月	座禅会(女子)・リパートレッキング	10月	味噌づくり・日の出拝観	11月	
3月																																						
4月	ヤマメ放流																																					
5月																																						
6月																																						
7月	危険予測・座禅会(男子)																																					
8月																																						
9月																																						
10月	餅つき(男子)																																					
11月	餅つき(女子)																																					
3月																																						
4月																																						
5月																																						
6月	清掃ボランティア																																					
7月	塾野菜料理会																																					
8月																																						
9月	座禅会(女子)・リパートレッキング																																					
10月	味噌づくり・日の出拝観																																					
11月																																						
共同生活	1.共同生活の根幹となるもの ・挨拶、返事・整理整頓・あと片付け ・食事のとり方・箸の使い方・姿勢・床の拭き掃除 2.昔ながらの炊飯体験 ・実施無し 3.助け合うこと、協力すること ・チーム活動　・歌の合唱	1.共同生活の根幹となるもの ・挨拶、返事・整理整頓・あと片付け ・食事のとり方・箸の使い方・姿勢・床の拭き掃除 ・トイレ掃除・入浴の仕方・布団の準備、片付け等 2.昔ながらの炊飯体験 ・米とぎ・釜飯炊き(土曜の朝・夕、日曜の朝) ・羽釜洗い 3.助け合うこと、協力すること ・語らい　・シンボルづくり ・最終ステージの出し物 ・兄弟の役割の徹底																																				
その他	1.公共交通機関による通塾 2.コロナウイルス感染時の対応 3.1日体験コースによる運営	1.宿泊を伴う活動 2.塾生同士の触れ合い時間の確保 3.塾生との会話(スタッフによる深掘りの時間)																																				
自然塾活動 以外	1.鳥栖市体験学習事業 2.やまももの会のボランティア活動	1.やまももの会総会																																				

【参考】

I 開塾までの経緯

令和3年度については、子供達の健全育成活動(以下「自然塾活動」)を行うため、3月7日の説明会および3月21日からの第1ステージに向けての準備を開始しました。

1. 自然塾活動の拠点となる「塾舎」については、当法人を設立した平成14年の9月に完成し、主要支援先であるコカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社様から無償で借用しており、平成22年および平成29年に改修工事をしていただきました。
また、塾舎のある用地については平成14年9月から鳥栖市様より無償で借用しております。
2. 自然塾活動の基盤となる「農地」については、地域の方から借受けした農地3ヶ所(約3,200㎡)を水田と畑として活用し、継続して米や野菜の農作物を作る計画としました。
3. 自然塾活動や運営のための職員は、常勤5名(うち企業からの派遣1名)、非常勤2名を確保し、カリキュラムの内容や育成する野菜の検討、農地の整備・耕作等を行いました。
4. 令和3年度の塾生の募集については、令和2年塾生がコロナ感染の影響でステージ数が少なかったため希望者には優先的入塾を認めました。(再入塾 男子16名、女子11名)
塾生の選考にあたっては、令和3年1月16日～17日に塾舎にて本人および保護者と面談を行い、本人の意思確認を経て、男女41名の入塾を決定しました。

- ・応募数 59名 (男子30名、女子29名) (福岡県30名、佐賀県29名)
- ・入塾生 男子21名 (小学生19名、中学生2名) (福岡県15名、佐賀県6名)
女子20名 (小学生18名、中学生2名) (福岡県 8名、佐賀県12名)

● 学年構成

学年	男子	女子	合計
中学1年	2	2	4
小学6年	13	11	24
小学5年	6	7	13
合計	21	20	41

● 地域構成

地域	男子	女子	合計
福岡県	15	8	23
佐賀県	6	12	18
合計	21	20	41

5. 運営資金については、主要支援先であるコカ・コーラボトラーズジャパン株式会社様からの支援金が大幅な減額となりましたが、株式会社リコー様をはじめとするリコー三愛グループ各社様や理事企業様また保護者会様の協力やふるさと納税を利用しての寄付金収入で運営する事ができました。
また、人員体制の大幅な見直し(職員4名減)、塾生定員数の見直し(18名減員)、ステージ回数減、必要経費の削減等を行い、可能な限り費用の圧縮に努めました。

【内訳】

(1) 会費	①正会員(法人・個人)	5,547,000円
	②賛助会員(法人・個人)	177,000円
		計 5,724,000円
(2) 寄付金	①株式会社リコー 様	10,000,000円
	②コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 様	3,200,000円
	③三愛石油株式会社 様	3,000,000円
	④公益財団法人市村清新技術財団 様	2,500,000円
	⑤その他(ふるさと納税・金子財団他)	5,043,100円
		計 23,743,100円
(3) 雑収入	①鳥栖市体験学習の戻入れ・中山間地補助金他	39,728円
		合計 29,506,828円

6. 塾生募集活動

令和4年度の塾生募集を行いました。次年度も新型コロナウイルス感染の影響が考えられることから募集人数を減らし日帰り活動を柱としたことにより、募集規模を見直した案内としました。
また、令和3年度の塾生は期間も短く体験コースの位置づけであったため、令和4年度は優先的に入塾を認める措置としました。

- ・募集人数 18名（通常は30名）
- ・募集期間 10月1日～12月31日
- ・配布先 「やまももの会」(OB・OG)の在籍時の学校に絞って配布
令和3年度「鳥栖市体験事業」の参加者に配布
令和3年度の体験コース参加者に配布

・入塾希望者

●学年構成

学年	男子	女子	合計
中学1年	1	5	6
小学6年	5	5	10
小学5年	10	7	17
小学4年	3	2	5
合計	19	19	38

●地域構成

地域	男子	女子	合計
福岡県	9	12	21
佐賀県	10	7	17
合計	19	19	38

- ・面談日 令和4年 1月15日～16日

II ステージ休止中の主な活動

1. 「ふるさと納税」による寄付金収入

前年度より継続して、佐賀県の「ふるさと納税」を活用し、理事企業、やまももの会、歴代職員に案内することで「ふるさと納税」による収入(2,969千円)を確保しました。

2. 「やまももの会」保護者への寄付依頼

「やまももの会」メンバーに対して自然塾九州存続のための支援の依頼を行い、寄付金収入(264千円)を確保しました。

3. 会員拡大と増額依頼

次年度以降の収入を確保すべく、会員の拡大と理事企業への会費増額の依頼を行いました。

●会員の状況(令和3年12月現在)

	法人		前年比		個人		前年比	
	社数	口数	社数	口数	人数	口数	人数	口数
正会員	53	185	+9	+86	22	29	▲1	▲70
賛助会員	3	6	▲2	▲2	36	98	▲3	+13
計	56	191	+7	+84	58	127	▲4	▲57

III その他の報告

1. 「鳥栖市少年少女自然体験学習事業」の開催

鳥栖市教育委員会主催の「鳥栖市少年少女自然体験学習事業」を共同で開催し、自然の中での体験活動や学校や学年を超えたグループでの活動を通じて、子供たちの自発性と協調性を養い高めてもらうことを目的として実施しました。

- ・開催日 7月21日～22日
- ・鳥栖市の小学生18名(例年は30名)を日帰りで受入れ。
- ・新型コロナウイルス感染予防のため、受入れ人数を減らし、日帰り(2日間)の活動としました。

〈第1号議案〉 令和3年度 事業報告および決算報告の件 ②

活動計算書

令和3年1月1日から令和3年12月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員			
法人会員	5,460,000		
個人会員	87,000		
賛助会員			
法人会員	30,000		
個人会員	147,000	5,724,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金		23,743,100	
3. その他収益			
受取利息	394		
雑収益	39,334	39,728	
経常収益計			29,506,828
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	10,504,447		
賃金	495,050		
法定福利費	1,190,670		
人件費計	12,190,167		
(2) その他経費			
教材費	213,965		
燃料費	69,391		
図書資料費	37,926		
保健衛生費	59,637		
食材費	136,317		
旅費交通費	25,790		
通信運搬費	557,600		
消耗品費	235,849		
水道光熱費	708,779		
賃借料	1,155,740		
印刷製本費	446,523		
保険料	1,000		
その他経費計	3,648,517		
事業費計		15,838,684	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	3,601,352		
法定福利費	297,347		
人件費計	3,898,699		
(2) その他経費			
旅費交通費	143,295		
福利厚生費	1,641,297		
通信運搬費	68,099		
消耗品費	29,627		
水道光熱費	177,195		
賃借料	276,078		
会議費	18,474		
渉外費	117,297		
修繕費	22,000		
支払手数料	153,776		
租税公課	2,134		
保守費	1,800,727		
雑費	121,949		
その他経費計	4,571,948		
管理費計		8,470,647	
経常費計			24,309,331
当期正味財産増減額			5,197,497
前期繰越正味財産額			9,786,140
次期繰越正味財産額			14,983,637

貸借対照表

令和3年12月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	68,777		
普通預金	11,465,513		
仮払金	17,000		
流動資産合計		11,551,290	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
器具備品	1		
有形固定資産計	1		
(2)投資その他の資産			
周年記念積立預金	5,000,000		
投資その他の資産計	5,000,000		
固定資産合計		5,000,001	
資産合計			16,551,291
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,199,727		
預り金	367,927		
流動負債合計		1,567,654	
負債合計			1,567,654
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		9,786,140	
当期正味財産増減額		5,197,497	
正味財産合計			14,983,637
負債及び正味財産合計			16,551,291

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（平成22年7月20日、平成23年11月20日一部改正NPO法人会計基準協議会）を採用している。

（1）固定資産の減価償却の方法

有形・無形固定資産 法人税法に定める耐用年数をもとに定額法によっている。

（2）消費税等の会計処理

消費税等の会計処理については、税込方式を採用している。

2. 固定資産の増減内訳

（単位：円）

科 目	期首取得価額	取 得	減 少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
器具備品	399,000	-	-	399,000	398,999	1
投資その他の資産						
周年記念積立預金	5,000,000	-	-	5,000,000	-	5,000,000
合 計	5,399,000	-	-	5,399,000	398,999	5,000,001

財 産 目 録

令和3年12月31日現在

(単位：円)

資産の部			
流動資産			
現金	68,777		
普通預金			
西日本シティ銀行 1107615	11,036,063		
西日本シティ銀行 3006184	3,719		
福岡銀行	343,990		
佐賀銀行	81,741		
仮払金			
寮費・食費	17,000		
流動資産合計		11,551,290	
固定資産			
器具備品	1		
周年記念積立預金			
西日本シティ銀行 定期預金	5,000,000		
固定資産合計		5,000,001	
資産の部合計			16,551,291
負債の部			
流動負債			
未払金	1,199,727		
預り金			
源泉税	76,541		
社会保険	274,586		
住民税	16,800		
流動負債合計		1,567,654	
負債の部合計			1,567,654
正味財産			14,983,637

監 査 報 告

令和3年度の決算監査を実施しましたので、以下の通り報告致します。

監査の結果、事業報告および会計に関する処理は適正であることを認めます。

令和4年 〇月 〇日

監 事 江 副 友 祐



令和4年度 事業計画書(案)

1. 事業計画策定にあたって

昨年11月に確認された新たな変異ウイルス・オミクロン株の感染が1月上旬より急拡大し、福岡、佐賀の両県では、1月27日に「まん延防止等重点措置」が国から発令されるなど、本年度もコロナウイルスの感染状況を注視しながらの事業運営の継続が必須となる。

また、昨年から経費削減策としてスタッフ人員を見直した結果、塾運営に多少の影響が出ており、その反省を踏まえて改善していく必要がある。

(1) 昨年度の反省点

- ① スタッフの業務量が多くなり、従来と比較して塾生に対する支援が不十分であった。
- ② 活動前の事前準備が不足していた。
 - 1) スタッフ人員の見直しを行ったが、その対策が不十分であった。
前スタッフの業務内容に対して、理解不足を伴ったまま活動に入ったことにより、スタッフ間での意思統一ができなかった。
 - 2) スタッフ不足を補うため、卒塾生組織「やまもの会」の役員を中心にボランティアをお願いし、塾生の安全管理を中心に協力してもらった。
ただ、参加者が随時変わること個人判断基準が違い、塾生に対する一律の対応が難しい状況であった。
 - 3) ステージの期間中、コロナ感染拡大の予測を踏まえた活動休止中の対策が不十分であった。
昨年は活動休止期間中に検討し実行に移したが、活動内容の改善も多く見られた。

(2) 改善点

- ① 塾生に直接、指導するスタッフの強化
 - 1) 塾の基本方針の再認識 ミーティング内容の改善
 - 2) 知識の共有化 農業知識、指導内容の見直し、共有化
 - 3) 活動スケジュールの共有化 ステージ毎に確認
- ② 準備不足の解消
 - 1) スタッフ職務分担の明確化、文書化
 - 2) ボランティアに対する指導の統一化(勉強会の開催)
 - 3) 緊急時(コロナでのステージ休止時期等)の対応方法を事前に策定しておく。

以上の改善を行ったうえでの事業計画策定方針に沿った計画案とする。

【事業計画策定方針】

- ・昨年に引き続き、日帰りコースを基本とする。(ただし、1泊2日のステージを男女各5回計画)
- ・コロナにおける活動休止期間中の新たな活動の取り組みの検討
- ・保護者による送迎は任意とし、公共交通機関を使つての通塾とする
- ・可能な限り費用の圧縮に努める
 - ① 塾生定員を36名(男子18名、女子18名)に見直し(昨年より6名減員)
 - ② ステージ回数削減(昨年より1ステージ減)
 - ③ 必要経費の減(水道光熱費、教材費、消耗品費、食材費等)
- ・会員拡大、ふるさと納税等、安定的な収入を確保すべく、収益拡大にも力を入れる
- ・20周年記念事業(12月開催予定)は、記念式典を開催せずコロナウイルス感染防止を第一とし、自然塾関東を参考にオンラインミーティング形式を検討する

2. ステージ運営に関する活動

(1) 事業内容

- ①農業体験活動 子供たち自らの手で行う農作物の栽培／共同農園・チーム農園・田んぼ
- ②自然体験活動 リポートレッキング、地域探索、座禅、日の出拝観、姿勢の話 など
- ③共同生活 挨拶、返事、清掃、整理整頓、食事マナー、チームワーク構築のためのプログラム、歌の合唱 など
- ④ボランティア活動 塾所在地である河内地区での清掃作業 など
- ⑤宿泊活動 コロナ感染の状況次第ではあるが、1泊2日のプログラムを男女各5回実施の予定
- ⑥リモートによる活動 活動休止期間が発生した際に塾活動の継続性を維持するため、チーム農園の様子やスタッフの活動状況等を知らせ、塾生とのコミュニケーションを図る。

(2) 対象者

一般公募した小学4年生から中学1年生までの児童・生徒 男子18名・女子19名

●学年構成(前年比)

	令和4年度(第18期)			前年比(R4年-R3年)		
	男子	女子	合計	男子	女子	合計
中学1年	1	5	6	▲1	2	1
小学6年	4	5	9	▲9	▲6	▲15
小学5年	10	7	17	4	0	4
小学4年	3	2	5	3	2	5
合計	18	19	37	▲3	▲2	▲5

●地域構成(前年比)

	令和4年度(第18期)			前年比(R4年-R3年)		
	男子	女子	合計	男子	女子	合計
福岡県	9	12	21	▲6	4	▲2
佐賀県	9	7	16	3	▲6	▲3
合計	18	19	37	18	19	▲5

(3) 活動の期間

- ①事前説明会 3月6日(日) 男子:午前 女子:午後
- ②男子活動期間 3月20日(日)～10月16日(日)
- ③女子活動期間 3月27日(日)～10月23日(日)
- ④卒塾式 10月30日(日) 男子:午前 女子:午後

(4) 従事者の状況

- 常勤 5人 企業からの出向者(1名)、契約社員(3名)、アルバイト(1名)
- 非常勤 2人 調理スタッフ(1名)、看護師(1名)

(5) その他の活動

①鳥栖市「少年少女自然体験事業」の開催(19回目の開催)

- ・鳥栖市教育委員会からの依頼を受け、市村自然塾九州スタッフが運営協力。
- ・清流体験などの自然体験活動や共同生活を通じて、子供たちの自発性と協調性を高めることを目的とした鳥栖市教育委員会生涯学習課の活動を支援。
- ・鳥栖市内の小学生を対象に連続2日間の日帰りの自然体験活動。
- ・開催時期は夏休みの平日(7月26日～27日)を予定。
- ・ただし、コロナ感染の状況次第では、開催を中止する。

②「やまもの会」総会 の開催(17回目の開催)

- ・卒塾生(979名)の親睦を深め、交流を通して互いに学びあうことが目的。
- ・開催時期は夏休みの平日(男子:8月17日、女子:8月18日)を予定。
- ・ただし、コロナ感染の状況次第では、開催を中止する。

◆事業運営にあたって解決すべき課題

(1) 安定的な収入の確保

事業規模を縮小しても、安定的かつ効果的な事業運営が続けられるよう会員拡大(退会者の抑止)や、ふるさと納税の継続ならびに新規寄付先の拡大を行う。

(2) 応募者の確保

- 令和4年度も前年に引き続き、コロナ禍による塾生数の見極めを検討する期間が必要であったため募集期間を1ヶ月遅らせ、男子18名、女子18名の定員で6名3チームでの運営とした。ただ、応募者は年々減少傾向であり、定員減はあっても今後どのように応募者を増やしていくかが課題となる。

参考…応募者数の推移

年度	人数	男女別人数	対前年比
平成30年	90名	(男子 43名 女子 47名)	+12名
令和元年	76名	(男子 36名 女子 40名)	▲14名
令和2年	83名	(男子 38名 女子 45名)	+7名
令和3年	59名	(男子 30名 女子 29名)	▲24名
令和4年	38名	(男子 19名 女子 19名)	▲21名

「対応策」

- 既存のパンフレット、ポスターや塾HPを使うやり方を見直し、地域のマスメディア(TV・ラジオ等)やWEB・フリーペーパー等を使った応募方法を検討する。

(3) ボランティアの確保

- 今年度も活動中の安全面での支援が必要であることから、「やまもの会」役員会を通じボランティア派遣を依頼し、塾生の安全確保を図りたい。
- 理事企業を中心とした社員による、ボランティアの依頼を行う。

ただし、新型コロナウイルス感染対策で参加人数の制限や期間の短縮を検討したうえでの募集とする。

(4) 自然塾創立20周年記念事業(案)の準備

- 本年度は自然塾が設立して20周年を迎えるにあたり、20周年記念事業の運営方針を策定する。ただし、新型コロナウイルス感染拡大を踏まえて、式典等の大規模なものは実施しない。

現在の検討内容は、以下のとおり

- | | |
|-------|---|
| ①開催日時 | 令和4年12月11日(日) 10:30開始 12:00終了 |
| ②開催場所 | 市村自然塾 九州 塾舎 研修室 |
| ③式典内容 | ・総合塾長挨拶
・来賓挨拶
・代表理事挨拶
・自然塾九州のこれまでの歩みと今後の展望
・卒塾生によるトークセッション(活動の思い出や学び) |

当日会場への主催者及び来賓は必要最小限とし、新型コロナウイルス感染防止を第一とする。
また、その他の招待者(卒塾生他)については、リモートでの参加とする。

<第2号議案> 令和4年度 事業計画および活動予算の件 ②

令和4年度 活動予算書(案)

令和4年1月1日から令和4年12月31日まで

(単位:千円)

科 目	金 額	収益・費用の主な内訳
I 経常収益		
1. 受取会費	5,610	<正会員> 法人 30,000円×179口 個人 3,000円×25口 5,445 <賛助会員> 法人 5,000円×6口 個人 1,500円×90口 165
2. 受取寄付金	24,730	株式会社リコー 10,000 コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 4,500 三愛石油株式会社 3,000 ふるさと納税 2,969 公益財団法人市村清新技術開発財団 2,500
3. その他収益	40	受取利息 1 中山間地農業補助 他 39
経常収益計	30,380	
II 経常費用		
1. 事業費	25,163	
給料手当		職員給与 13,244
賃金		調理師、看護師の人材派遣費用 1,800
法定福利費		社会保険料、労働保険料 等 1,634
教材費		種・苗・堆肥 等の活動教材 352
燃料費		塾保有車ガソリン代・農機具燃料費 92
図書資料費		書籍・新聞購読料 等 38
保健衛生費		日用品、医薬品 等 80
食材費		活動時における食事の食材費用 700
旅費交通費		塾生送迎交通費、業務上の交通費 等 40
通信運搬費		電話料金、郵送費、宅配費 等 570
消耗品費		事務用消耗品、厨房関係消耗品 等 593
水道光熱費		電気、ガス料金 745
賃借料		車両、寝具リース、農地、機械借用料 等 1,616
印刷製本費		コピー代、塾生手帳、塾生募集パンフレット 等 520
修繕費		活動用機器の修繕費 80
保険料		看護師、ボランティア参加時の保険 等 40
教育研修費		外部研修参加費 19
20周年記念費		記念式典費用 等 3,000
2. 管理費	8,686	
給料手当		職員給与 3,154
法定福利費		社会保険料、労働保険料 等 304
旅費交通費		出張旅費、交通費 254
福利厚生費		単身職員借上寮、定期健康診断料 等 1,850
通信運搬費		電話、携帯電話、切手 等 70
消耗品費		事務用消耗品 等 113
水道光熱費		電気、ガス料金 207
賃借料		パソコンリース、車両リース 等 367
会議費		会議時の飲食費用 40
渉外費		地域協力のための会費、慶弔費用 等 120
修繕費		設備機器の修繕費用 182
支払手数料		振込手数料・残高証明 等 150
保守費		警備保守、防火管理、浄化槽管理、空調管理 等 1,750
雑費		会計サポート、玉串料 他 125
当期正味財産増減額	△ 3,469	
前期繰越正味財産額	14,983	
次期繰越正味財産額	11,514	

活動予算書(案)の主な増減要因

(単位：千円)

科 目	令和4年 予算(案)	令和3年 実績	差異	増減要因
I 経常収益				
1. 受取会費				
正会員				
法人会員	5,370	5,460	△ 90	3社3口減
個人会員	75	87	△ 12	2名4口減
賛助会員				
法人会員	30	30	-	
個人会員	135	147	△ 12	6名8口減
2. 受取寄付金				
受取寄付金	24,730	23,743	987	CCBJI増額
3. その他収益				
受取利息	1	1	-	
雑収益	39	39	-	
経常収益計	30,380	29,507	873	
II 経常費用				
1. 事業費				
(1) 人件費				
給料手当	13,244	10,504	2,740	人員体制見直しによる増(1名増)
賃金	1,800	495	1,305	ステージ増による調理師費用の増
法定福利費	1,634	1,191	443	
人件費計	16,678	12,190	4,488	
(2) その他経費				
教材費	352	214	138	ステージ増による増
燃料費	92	69	23	
図書資料費	38	38	0	
保健衛生費	80	60	20	
食材費	700	136	564	ステージ増による食材の増
旅費交通費	40	26	14	
通信運搬費	570	558	12	
消耗品費	593	236	357	ステージ増による増
水道光熱費	745	709	36	
賃借料	1,616	1,156	460	宿泊ステージによる布団リース発生
印刷製本費	520	447	73	
修繕費	80	-	80	
保険料	40	1	39	
教育研修費	19	-	19	
20周年記念費	3,000	-	3,000	
その他経費計	8,485	3,650	4,835	
事業費計	25,163	15,840	9,323	
2. 管理費				
(1) 人件費				
給料手当	3,154	3,601	△ 447	人員体制見直しによる減(7ヵ所1名減)
法定福利費	304	297	7	
人件費計	3,458	3,898	△ 440	
(2) その他経費				
旅費交通費	254	143	111	ボランティア交通費の増
福利厚生費	1,850	1,641	209	人員体制見直しによる増(1名増)
通信運搬費	70	68	2	
消耗品費	113	30	83	消火器取替
水道光熱費	207	177	30	
賃借料	367	276	91	LANフォルダー保守費の増
会議費	40	18	22	
渉外費	120	117	3	
修繕費	182	22	160	事務室空調機修理
支払手数料	150	154	△ 4	
租税公課	-	3	△ 3	
保守費	1,750	1,801	△ 51	
雑費	125	122	3	
その他経費計	5,228	4,572	653	
管理費計	8,686	8,470	213	
経常経費計	33,849	24,310	9,539	
当期正味財産増減額	△ 3,469	5,197	△ 8,666	
前期繰越正味財産額	14,983	9,786	5,197	
次期繰越正味財産額	11,514	14,983	△ 3,469	

〈第3号議案〉 理事および監事選任の件

令和4年度

理事および監事(新体制案)

任期 令和3年3月16日から令和5年3月15日

理 事

	氏 名	備 考	
代表理事	柴田 暢雄		再任
副代表理事	松尾 哲吾	松尾建設株式会社 代表取締役社長	再任
副代表理事	吉村 隆男	リコージャパン株式会社 執行役員 マーケティング本部 九州地域担当 マーケティング本部 福岡支社 支社長	新任
理事	稲川 晶子	コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 経営企画本部 CSV推進部 担当部長	再任
理事	呉藤 徹	株式会社佐電工 代表取締役専務	再任
理事	阿部 哲嗣	株式会社リコー ESG戦略部兼プロフェッショナルサービス部 ESG推進室 室長	再任
理事	大久保 宏次	佐賀ガス株式会社 代表取締役社長	新任
理事	八田 聡子	三愛石油株式会社 CSR推進部 CSR推進課長 兼 ISO・環境安全課長	新任

監 事

	氏 名	備 考	
監事	野口 貴司	リコージャパン株式会社 経営企画本部 コーポレートセンター 九州ビジネスサポート部 部長	新任

定款より

第4章 役員および職員
(種別及び定数)

第13条 この法人に次の役員を置く。

- (1) 理事 5人以上10人以内
- (2) 監事 1人以上2人以内

令和3年度
理事および監事(現体制)

理事

	氏名	備考
代表理事	柴田 暢雄	
副代表理事	松尾 哲吾	松尾建設株式会社 代表取締役社長
副代表理事	川原 唯司	リコージャパン株式会社 執行役員 中国・九州地域担当
理事	稲川 晶子	コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 経営企画本部 CSV推進部 担当部長
理事	呉藤 徹	株式会社佐電工 代表取締役専務
理事	阿部 哲嗣	株式会社リコー ESG戦略部兼プロフェッショナルサービス部 ESG推進室 室長
理事	松村 淳一	佐賀ガス株式会社 代表取締役社長

監事

	氏名	備考
監事	江副 友祐	リコージャパン株式会社 東京支社 事業戦略部 事業推進グループ グループリーダー

以上